



ささえあい

志布志市社会福祉協議会 第101号



初春に想ふ



社会福祉法人
志布志市社会福祉協議会

会長 溝口敏久

皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、1月1日に発生した能登半島地震は、阪神淡路大震災に匹敵する地震であり、年間を通じて全国のボランティアが家屋等の片付けを行うために現地に入り、活動を継続されてきました。そして、私たちは、被災者の心に寄り添い続けることの大切さを痛感した年となりました。本市では、南海トラフ地震等による大規模災害への備えが必要な地域であり、当法人は能登半島へ2名の職員派遣をし、生活復興支

援の災害ボランティアセンターにおいて、被災者に寄り添う活動実践をしました。

60年前、全国社協は、社協組織と活動のあり方を示す基本要項を策定し、その中で唯一不変であるのは、「住民主体」の原則であるとしています。時を経ても普遍的なものであり、地域活動の根幹となるものです。

この基本要項に災害時等非常時・総合相談の支援機能が追加されることになり、社協の役割はますます重要になります。

当法人は住民の生活上の課題や誰かの役にしたいという住民の思いに傾聴し、「一人一人を繋ぐ」役割を担い、SDGs目標の「誰一人取り残さない」を目指します。

本年も、住民の皆様方との繋がりを大切に地域福祉活動推進に努めてまいりますので、御支援を賜りますようお願い申し上げます。巳の年が皆様にとって明るく素晴らしい年であり、年頭のあいさつといたします。

令和6年度 志布志市地域福祉推進大会

「テーマ」『共にささえあい 笑がおで暮らせる地域をめざして』

11月23日（土・勤労感謝の日）、志布志市文化会館にて地域福祉推進大会を開催しました。

大会では、民生委員・児童委員の方々や福祉団体、児童・生徒のボランティアポイントなど、部門ごとの表彰が行われました。また、「地域で備える防災について」と題し、鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部長兼ボランティアセンター所長 池下真也様をコーディネーターとしてお招きし、市役所、コミュニティ協議会、社協がそれぞれの防災活動について報告し、シンポジウムを開催しました。

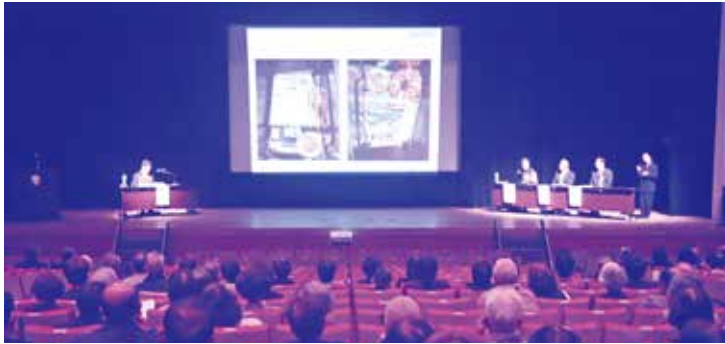
大会の被表彰者につきましては、広報紙「ささえあい」第100号（令和6年11月発行）に掲載しています。



ふれあいボランティアポイントの表彰



会長表彰を受けられた被表彰者



シンポジウム



日赤 災害救援物資



パネリスト萩原危機管理監の防災グッズ

「来場者の」感想・「意見

表彰式について

- 知らない所で多くの方々が活動され成果をあげていらっしやる事にありがたいと思えました。
- 長年の活動を認めるとともに、皆で祝福応援する環境を市自ら育んでいくことが大切である。

- あっという間の12年間でしたが色々あった事が思い出され、報われた様な救われた気分になりました。又、色々なスタッフの方が声をかけて下さり、緊張がやわらぎました。
- 表彰の理由をもう少し具体的に教えてほしい。

シンポジウムについて

- パネリストの方の発表が良かった。3名がそれぞれの立場で発表され理解しやすかった。
- 防災、その事が自分の命を守るという。その事についてあまり考えていなかった。今後地域とのつながり等考え

て、生活していきたい。

- できる人が、できる時にできる事をする。言葉が印象的だった。
- それぞれの発表が実体験の話がされていたので、よかった。できれば資料を印刷して下されば参考にしたいかったです。

その他

- 社協の取り組みの話を今まで聞く機会がなかった。なかなかだったので、とても学びになりました。地域のつながりがとても大切です。もっと多くの人に知って欲しい。若い人、子どもたちにも。
- 社協の役割について、地域住民として業務や仕事内容がわかりにくい。

他にも多数のご意見・ご感想をいただきました。職員一同今後の開催の参考にさせていただきます。

支え合いのまち、志布志市へ

～志布志市社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう、**地域における支え合い活動**を推進しています。～



私たちの住む日本では、高齢化の中で人口減少が進行し、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。人口減少による担い手の不足や、血縁、地縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、国では人と人、人と社会がつながり支え合う取り組みが生まれやすいような環境を整える施策を進めています。地域住民の孤立を防ぐため、交流を通して楽しみや生きがいを持ち人と人が繋がりが続けられるように、地区コミュニティ協議会の主催により「ふれあいの集い」や「高齢者の見守り活動」が行われています。

地域つながり事業 ～地域住民が見守りを行っている事例～

10月13日(日) 野神校区 高齢者ふれあいの集い



当日は、野神小学校児童によるダンスや歌の他、フラダンスやビンゴゲーム、口腔ケアについての講話等があり、カレーライスに参加者みんなで食べました。

また、西川会長より野神校区内3カ所のふれあいサロンの周知をしていただきました。そのお陰で、ふれあいサロンの参加者が減少している現状でしたが、野神サロンに一組のご夫婦の参加希望がありました。

10月20日(日) 帖五区 高齢者の集い



当日は、ちりめん太鼓や地元の方の唱歌に合わせて参加者が口ずさんだり、マジックショーやビンゴゲームを楽しまれました。

久しぶりに再会された高齢者の方々もおり、お互いの近況を話されていました。参加者は、お土産を下げて来年の開催を楽しみに家路につかれました。

10月20日(日) 山重校区 ふれあいの集い



75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ふれあいの集いが開催されました。

当日は、笑いヨガでみんなで大笑いしたり、ニュースポーツで得点を競ったり、宮ヶ原耕平さんのこうちゃん劇場で楽しませていただきました。普段は一人での食事が多いですが、手作りのカレーライスをみんなで食べ楽しい一時を過ごすことができました。

11月15日(金) 新橋地区 一人暮らし高齢者見守り活動



ひとり暮らし高齢者で見守り対象者の方へ、見守りも兼ねて即席の味噌汁を配布され、対象者からは「寒くなるので助かります。いつもありがとう」と会話をされていました。



戸別募金

志布志地区

2,367戸

1,453,200円

有明地区

1,685戸

1,011,000円

松山地区

1,033戸

619,800円

計 5,085戸

3,084,000円

賛同いただいた多くの自治会より募金をいただきました。赤い羽根一般募金の募集期間は終了いたしました。期間外の受付を行っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

- 伊崎田中学校
- 通山小学校
- 有明中学校
- 伊崎田小学校

松山地区

- 松山中学校
- 泰野小学校

児童会や生徒会役員を中心として募金活動が行われました。

計 93,507円

今回の広報紙第101号は、令和6年11月30日までの募金を掲載しております。

12月以降にいただきました募金については、改めて掲載させていただきます。ご了承ください。(敬称略)

個人募金

市内全域(8名)

計 27,398円

その他の募金(募金箱)

志布志地区

- 健康ふれあいプラザ

有明地区

- Aコープあおぞら店
- 蓬の郷

計 46,934円

市内の店舗や飲食店、市役所庁舎他に(募金期間中のみ、常設)募金箱を設置しております

令和6年度の赤い羽根共同募金へのご協力、ありがとうございました。皆様のおかげをもちましてたくさんの募金が集まりました。

集まりました募金は志布志市や県内各地で様々な活動に活用されます。また、災害時には共同募金会からのお見舞金等としても活用されています。

これからもご協力をよろしくお願いいたします。

学校募金

志布志地区

- 香月小学校
- 田之浦小学校
- 志布志小学校
- 尚志館高校

有明地区

- 山重小学校
- 蓬原小学校





令和6年度 赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



令和6年度
共同募金実績報告
皆様の善意に感謝いたします

(R6.10.1～R6.11.30まで)

敬称略・順不同にて掲載いたします。

赤い羽根 一般募金

街頭募金

- 志布志地区**
- ナフコ志布志店
 - 生協コープかごしま志布志店
 - サンポートしづしアピア
 - スーパーセンターニシムタ志布志店
- 有明地区**
- Aコープあおぞら店
 - 四季彩館ほりぐち志布志店
 - ミネサキ 有明店

計 156,140円

10月1日、市内7カ所の店舗に市内の保育園・幼稚園の園児、民生委員・児童委員、令和6年度助成金配分を受けられた団体等の方々と街頭募金を実施いたしました。元気な子どもたちの掛け声に多くの市民の賛同を得て昨年を上回る募金が集まりました。

イベント募金

- 志布志地区**
- 共同募金チャリティグラウンド・ゴルフ大会
 - 共同募金歳末チャリティグラウンド・ゴルフ大会

- ボランティア連絡協議会グラウンドゴルフ大会 (どひこでん募金)

- 有明地区**
- 山重ふるさとまつり
 - 伊崎田地区白鳥杯グラウンドゴルフ大会

- 松山地区**
- やっちく秋の陣まつり
 - 建築士会 曾於支部
 - 松竹会 (松山地区ボランティア団体)
 - 松山小学校
 - 泰野小学校
 - 尾野見小学校
 - 個人バザー売上金

計 187,448円

グラウンドゴルフ大会の参加料や会場内に設置した募金箱にホールインワンやホールに近づいた時、その他多くの善意が集まりました。

やっちく秋の陣まつりでは、松山地区の小学生が曾於保護区保護司会の方々とゲームを行った売上金や会場内への声掛けを行いました。コミュニティ協議会の催しで募金をいただきました。

職域募金

- 志布志地区**
- 志布志市役所 志布志庁舎 職員
 - 志布志地区民生委員児童委員協議会
 - 社会福祉法人隆愛会 (賀寿園) 職員

- 有明地区**
- 志布志市役所 有明庁舎 職員
 - 有明地区民生委員児童委員協議会

- 松山地区**
- 志布志市役所 松山庁舎 職員
 - 松山地区民生委員児童委員協議会

計 139,689円

志布志市民生委員・児童委員や市役所、社会福祉法人の職員より募金をいただきました。

『通山校区防災フェスタ』を開催しました



令和6年10月20日(日)通山校区コミュニティ協議会では、「とおリンピック防災フェスタ」を開催しました。「とおリンピック」は、例年開催していた体育祭が、選手集めが難しくなったため、誰でも気軽に参加できる内容を検討していましたが、元旦の能登半島地震やその後の豪雨災害を踏まえ、通山地区が海岸に面し、特に地震による津波災害をはじめ、地域住民の防災意識の向上は喫緊の課題ととらえ開催しました。フェスタでは、市社会福祉協議会のご協力による非常食の炊き出し訓練、市消防署と消防第2分団のご協力による担架づくりと搬送訓練、消火器訓練、心肺蘇生訓練を実施しました。また、消防車両等の搭乗体験や防火服を着用した子どもたちの記念写真撮影も行いました。最後は、市総務課危機管理監によるクイズを交えた防災講話で防災の知識を得ることができました。来場された皆さんからは、有意義な取り組みだった。継続して実施してもらいたいなどのご意見をいただきました。

(寄稿：通山校区コミュニティ協議会)



ぜひ、こちらをご覧ください！



やっちく秋の陣まつりにて共同募金の呼びかけを行いました!!

11月10日にやっちく秋の陣まつりが開催され、松山小学校、秦野小学校、尾野見小学校の児童の協力をいただき、共同募金の呼びかけを行いました。子どもたちの元気いっばいの呼びかけにより、19,570円の募金が集まりました。

また、志布志市社会福祉協議会ブースでは、松山町ボランティア連絡協議会「松竹会」によるバザー出店をされ、売上金の一部を共同募金に寄附されました。また、社会参加を目指す方の手づくりアクセサリー販売も行い、多くの方にお立ちよりいただき、ご協力をいただきました。



小・中高生がボランティア活動や地域活動を行った時に、「ふれあいボランティア活動カード」に押印をもらい、ポイントをためていく活動です。



田之浦小学校 6年
東 咲希さん



田之浦小学校 6年
梅沢 土筆さん

☆
50ポイント達成
☆
ゴールドクラス☆



泰野小学校 4年
永田 紗那さん



泰野小学校 5年
中井 陽菜さん



森山小学校 6年
安樂 咲さん



田之浦小学校 4年
濱田 真仁さん

☆
20ポイント達成
☆
シルバークラス☆

どんな活動をして
ポイントをためましたか？



- ペットボトルキャップ・プルタブ収集
- 公民館の草取り
- 集落内ゴミ拾い
- 子ども会花植え
- 神楽伝承

※20ポイント、50ポイント、80ポイント、100ポイント 達成時に広報紙に掲載しています。

生活福祉資金（教育支援費、就学支度費）貸付のご案内

低所得世帯へ下記により貸し付ける資金で、受付期間は2月から4月までです。

資金名	資金の種類	資金の用途	資金限度額	据置期間	貸付金利
教育支援資金	教育支援費	入学後に必要となる授業料、交通費、寮費など分割納入するもの	〈高校〉月額 3.5万円以内 〈高専〉月額 6万円以内 〈短大〉月額 6万円以内 〈大学〉月額 6.5万円以内	卒業後 6か月以内	無利子
	就学支度費	入学に際し必要な経費（入学金、制服、靴、体育着等で学校指定により入学時に購入するもの等）	50万円以内		

借入申込みに際し留意事項があります。
詳しくは 099-472-1800（地域福祉係）までお問い合わせください。

皆様の善意に 感謝いたします

いただきましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

香典返し寄附金

寄附者のご承諾をいただいた方のみ掲載しております。

(令和6年10月9日から

令和6年12月1日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名
(敬称略)

志布志本所受付分

森山 森 榮一 故鈴子
下小西 松岡勝己 故セツ
六月坂 竹之内宏史 故正子
町原 福元恵子 故薫
夏井1班 倉見谷政子 故正信
下田屋敷 永井美穂子 故サエ
森山 加籠隆盛 故節子
弓里 松山和弘 故ノブ子

有明支所受付分

中吉村 吉岡俊一 故光子
頭方限 川田健一 故進

松山支所受付分

野久尾 池田ふみえ 故純次
射場 徳永俊也 故ミキ子
むぎの里 高野利彦 故高野チヨ子

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。

(令和6年10月9日から

令和6年12月1日まで受付分)

志布志本所受付

(敬称略)

・森山マルシェ4子ども出店

5,140円

松山支所受付

・池之上淳一

10,000円

物品寄附

自立支援センター「ひまわり」受付

・二見孝子

米5kg 2袋、日用品、洗剤

他多数

・志布志市ボランティア連絡協議会

糶1俵、干しいたけ、味噌、

インスタントラーメン、缶

詰、菓子、食品、他多数

・匿名希望

食品、食器用洗剤、日用品

衣料品、和菓子、食料品、綿

毛布、紳士肌着、他多数

・しぶし子ども食堂

デンタルフロス、歯ブラシ

他

令和6年9月能登半島大雨災害義援金

(令和6年10月10日から

令和6年12月1日まで)

志布志本所受付

(敬称略)

・山重ふるさと祭り義援金箱

2,025円

有明支所受付

・市役所有明庁舎義援金箱

2,947円

これまでの合計金額

107,396円

※この義援金の期間は、

令和7年3月31日までです。

◆ しぶし生活自立支援センター「ひまわり」からお知らせです ◆



市民の皆様方からランドセルのご寄付をいただきました。ランドセルが必要だけど経済的な事情等でランドセル購入等が難しくお困りの方、ランドセルが壊れているが、新たに購入等が難しい方など、お気軽にしぶし生活自立支援センター「ひまわり」にお問い合わせください。

※数に限りがありますので、相談された際にランドセルがない場合はご了承ください。

(問い合わせ先) しぶし生活自立支援センター「ひまわり」
志布志町志布志三丁目 27-23 電話 099-472-1830